

**経腸栄養剤の味と服薬アドヒアランスの関係についての
患者・患者家族調査 結果報告書**

2015年8月28日 株式会社QLife

主な結論

がん治療において、体力や体重を維持することは、抗がん剤の治療効果を保つ意味でも非常に重要だ。また、フレイルといった状態に代表されるように、高齢者の体重減少を防ぐことが予防の観点からも重要視されている。そうしたなか、「普段の食事にもう1つ」加える形で、体力の維持に大きな役割を果たすのが、飲みやすい経腸栄養剤の存在だ。「これまでと同じように食卓を囲む」ことは、患者にとどまらず、家族など周囲のQOLにも大きく関わっている。

今回の調査結果から、患者の多くが経腸栄養剤の効果を実感していること。そして、「味」や「飲みやすさ」が継続して飲み続ける重要なファクターになっており、患者自ら継続して飲み続けるために「工夫」していることが分かった。

今回の調査を監修した、いしが在宅ケアクリニックの石賀丈士院長は、今回の調査結果について以下のようにコメントした。「病気に打ち勝つ体力をつけるためには、日々の食事から栄養を取ることが重要です。ところが、食欲がなく、量を食べられなかったりと、十分な栄養を摂取できない患者さんも多くいらっしゃいます。そうした患者さんの栄養補給をサポートする医薬品が経腸栄養剤です。経腸栄養剤は、医薬品でありながら、味が選べたり、ある程度ならば飲み方に工夫ができたりと、患者さん自らが“おいしく飲む”やり方を選択できる“お薬”です。今の経腸栄養剤の味や飲み方に不安がある患者さんは、“お薬だから言われた通りに飲まないといけない”と遠慮せず、どんどん医師や薬剤師に相談してみてください。“良薬口に苦し”を“良薬、でも口においし”に変えるヒントを教えてくださいます」

結果概要

■ 約3人に2人が経腸栄養剤の味を自ら選定。半数以上が飲む以前と比べて体の調子が良くなったことを実感
43.3%が複数の味を処方。3種類以上は21.0%。
飲む以前と比較して体の調子が「とても良くなった」「やや良くなった」53.0%。

■ 味や飲みやすさについては半数以上が不満あり。指定された量や回数が飲めないことも
「美味しくない」「あまり美味しくない」67.2%、「飲みづらい」「やや飲みづらい」55.3%。
指定された量や回数が飲めないことが「かなりある」「時々ある」44.3%。

■ 半数以上が医師や薬剤師に対して相談経験あり。相談内容は「味の追加・変更」や「量・飲み方の工夫」など
医師や薬剤師に相談や要望伝えた経験「あり」52.0%。
「味について」53.8%（追加したい34.6%、変更したい19.2%）、「服用量について」37.2%。

■ 「冷やす」「他の飲み物と混ぜる」など飲みやすく工夫している患者も多い
飲みやすくするための工夫「している」31.7%。
「温度を変える」79.0%（冷やす57.9%、温める21.1%）、「他の飲み物と混ぜる」25.3%、とろみなど「形状を変える」18.9%。

■ 「味の美味しさ」が飲み続けるために最も重要
継続して飲むために重要なことは「味が美味しいこと」70.7、「1回の服用量が少ないこと」42.3%、「味の種類が豊富なこと」39.3%。

調査実施概要

▼調査主体

株式会社QLife(キューライフ)

▼実施概要

- (1) 調査対象とサンプル数：
経腸栄養剤を処方された経験のある患者（200人）と
その家族（100名）
- (2) 有効回収数：300人
- (3) 調査方法：インターネット調査
- (4) 調査時期：2015/7/24～2015/7/27

▼調査対象内訳

(1) 性別・年代

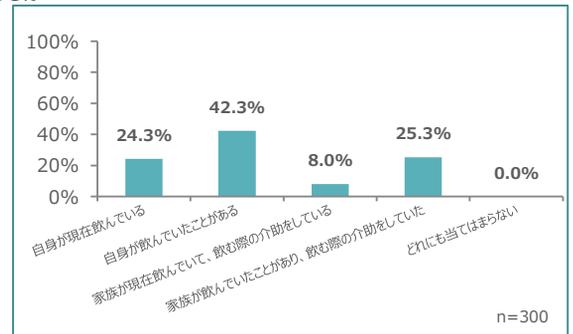
	男性	女性	n	男性	女性	%
20代	4	6	10	2.0%	5.8%	3.3%
30代	24	22	46	12.2%	21.2%	15.3%
40代	66	34	100	33.7%	32.7%	33.3%
50代	56	27	83	28.6%	26.0%	27.7%
60代	41	13	54	20.9%	12.5%	18.0%
70代	5	2	7	2.6%	1.9%	2.3%
総数	196	104	300	100.0%	100.0%	100.0%

(2) 居住地

北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県
4.7%	0.7%	1.0%	1.3%	1.3%	0.3%	0.7%	1.0%	1.0%	2.0%	6.0%	5.7%
東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県
15.0%	5.7%	1.7%	1.3%	0.0%	0.3%	1.3%	1.0%	2.0%	1.3%	5.3%	1.3%
滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県
1.0%	2.3%	11.3%	4.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	1.3%	3.7%	1.7%	0.3%
香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	
0.7%	1.0%	0.3%	3.7%	0.3%	1.7%	0.0%	0.0%	0.3%	0.7%	0.3%	

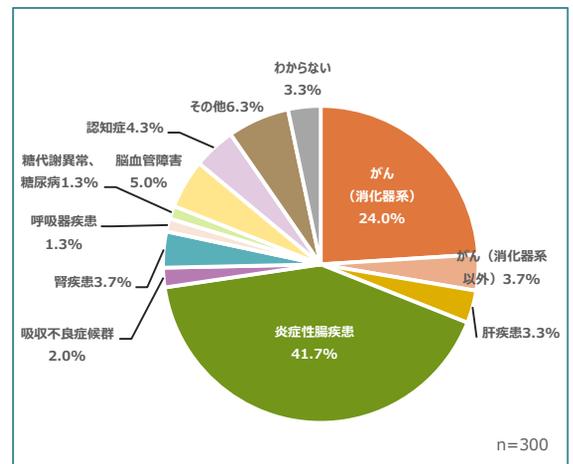
(3) 医師から処方された経腸栄養剤（半消化態栄養剤）を飲んでいただことがあるか

	n	%
自身が現在飲んでいる	73	24.3%
自身が飲んでいただことがある	127	42.3%
家族が現在飲んでいて、飲む際の介助をしている	24	8.0%
家族が飲んでいただことがある、飲む際の介助をしていた	76	25.3%
どれにも当てはまらない	0	0.0%
総数	300	100.0%



(4) 経腸栄養剤を処方されるきっかけとなった疾患

	n	%
がん（消化器系）	72	24.0%
がん（消化器系以外）	11	3.7%
肝疾患	10	3.3%
炎症性腸疾患	125	41.7%
吸収不良症候群	6	2.0%
腎疾患	11	3.7%
呼吸器疾患	4	1.3%
糖代謝異常、糖尿病	4	1.3%
脳血管障害	15	5.0%
認知症	13	4.3%
その他	19	6.3%
わからない	10	3.3%
総数	300	100.0%



調査結果

【Q1】経腸栄養剤を処方される理由として、医師に説明されたものをすべて教えてください。【複数回答】

「体力を維持するため」が最も多く59.7%。次いで、「体重の減少を防ぐため」「食欲不振を改善するため」となった。

n=300

	n	%
体力を維持するため	179	59.7%
体重の減少を防ぐため	128	42.7%
食欲不振を改善するため	73	24.3%
飲みこみの力が落ちているため	55	18.3%
食事を作るのが困難な状況にあるため	29	9.7%
その他	32	10.7%
わからない	9	3.0%
小計	505	168.3%
総数	300	

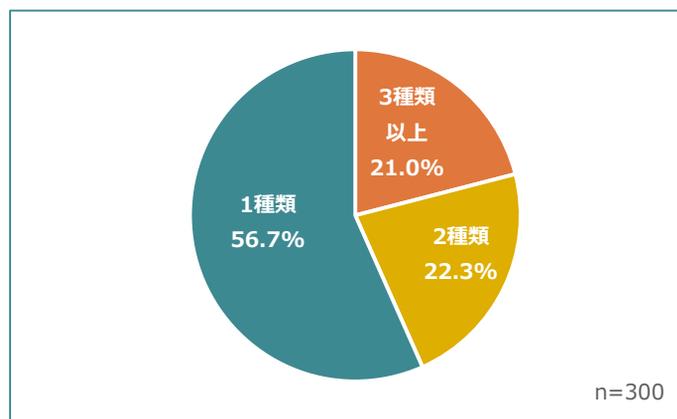


【Q2】現在（又は直近）何種類の味を処方されていますか？

43.3%が複数の味を処方されている。3種類以上は21.0%だった。

n=300

	n	%
3種類以上	63	21.0%
2種類	67	22.3%
1種類	170	56.7%
総数	300	56.7%



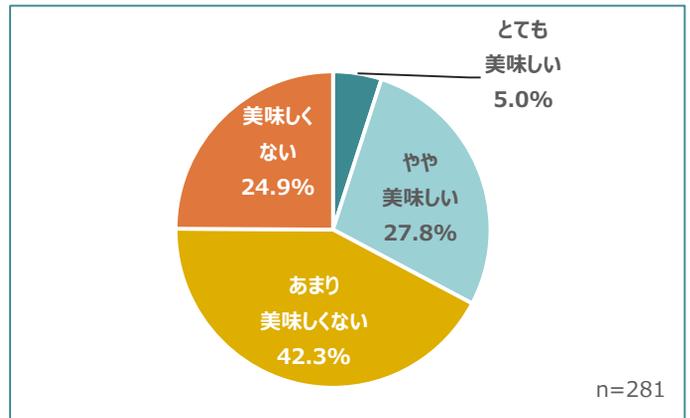
【Q3】経腸栄養剤の味についてどう思いますか？

※「聞いたことがないのでわからない」を排除して集計

約3人に2人が経腸栄養剤の味について「美味しくない」「あまり美味しくない」と回答した。

n=281

	n	%
とても美味しい	14	5.0%
やや美味しい	78	27.8%
あまり美味しくない	119	42.3%
美味しくない	70	24.9%
総数	281	100.0%



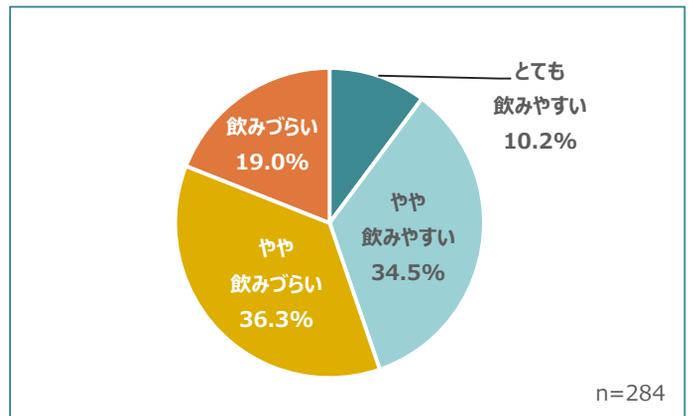
【Q4】経腸栄養剤の飲みやすさについてどう思いますか？

※「聞いたことがないのでわからない」を排除して集計

55.3%が経腸栄養剤について「飲みづらい」「やや飲みづらい」と回答した。

n=284

	n	%
とても飲みやすい	29	10.2%
やや飲みやすい	98	34.5%
やや飲みづらい	103	36.3%
飲みづらい	54	19.0%
総数	284	100.0%

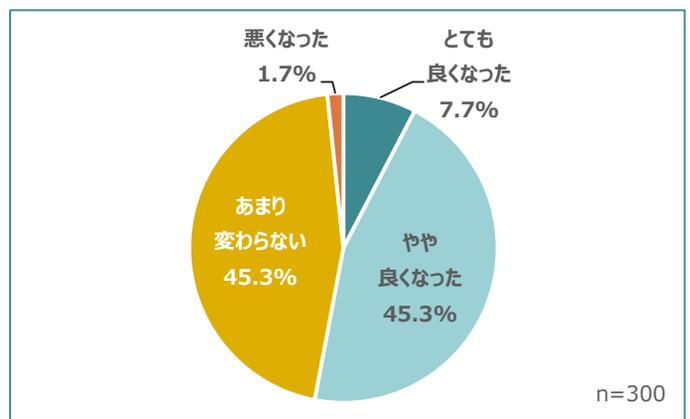


【Q5】経腸栄養剤を飲むことで、飲む以前と比較して体の調子はどうになりましたか？

半数以上が、以前と比較して体の調子が「とても良くなった」「やや良くなった」と回答した。

n=300

	n	%
とても良くなった	23	7.7%
やや良くなった	136	45.3%
あまり変わらない	136	45.3%
悪くなった	5	1.7%
総数	300	100.0%

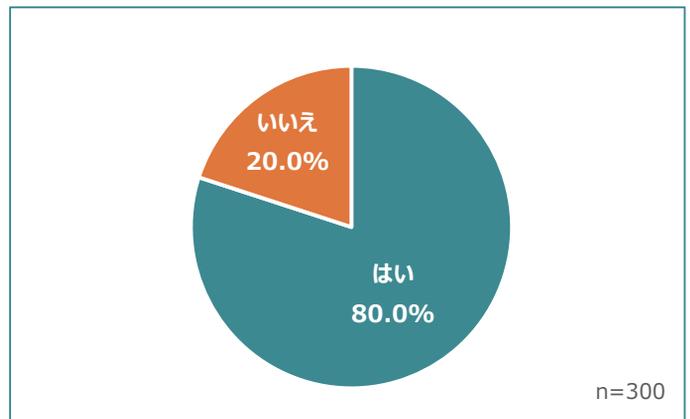


【Q6】経腸栄養剤にさまざまな味の種類があることをご存じでしたか？

80.0%が味の種類があることを知っている。

n=300

	n	%
はい	240	80.0%
いいえ	60	20.0%
総数	300	100.0%

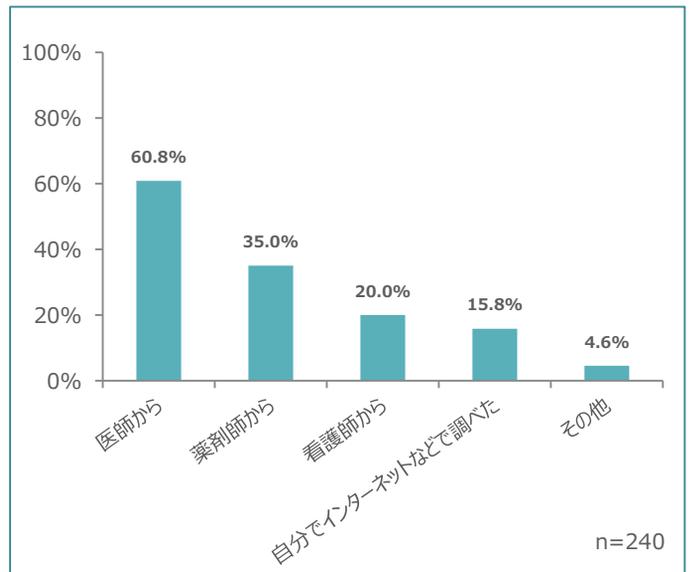


【Q7】経腸栄養剤にさまざまな味の種類があることについて、どのように知りましたか。【複数回答】

味の種類があることの情報源について、医師が最も多く、次いで薬剤師、看護師の順になった。

n=240

	n	%
医師から	146	60.8%
薬剤師から	84	35.0%
看護師から	48	20.0%
自分でインターネットなどで調べた	38	15.8%
その他	11	4.6%
小計	327	136.3%
総数	240	

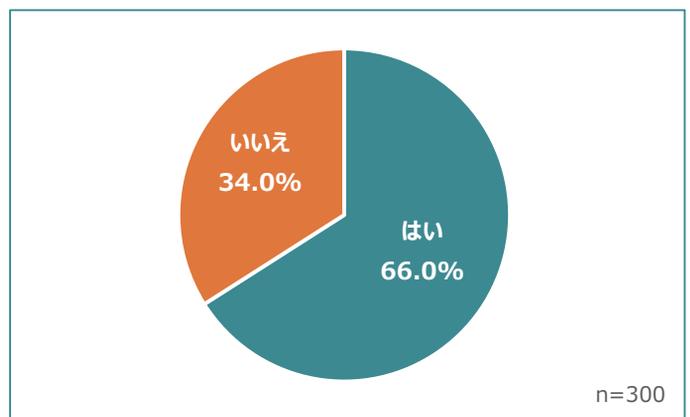


【Q8】経腸栄養剤の味をどれにするか選ぶ際に、あなたも関わりましたか？

約3人に2人が経腸栄養剤の味の決定に関与している。患者に限ると75.5%が味の決定に関与している。

n=300

	n	%
はい	198	66.0%
いいえ	102	34.0%
総数	300	100.0%

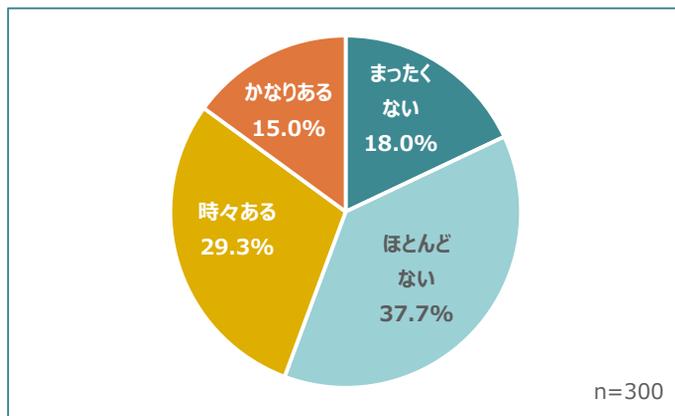


【Q9】経腸栄養剤の味や飲みにくさが原因で、指定された量や回数が飲めないことはありましたか？

44.3%が指定された量や回数が飲めないことが「かなりある」「時々ある」と回答した。

n=300

	n	%
まったくない	54	18.0%
ほとんどない	113	37.7%
時々ある	88	29.3%
かなりある	45	15.0%
総数	300	100.0%

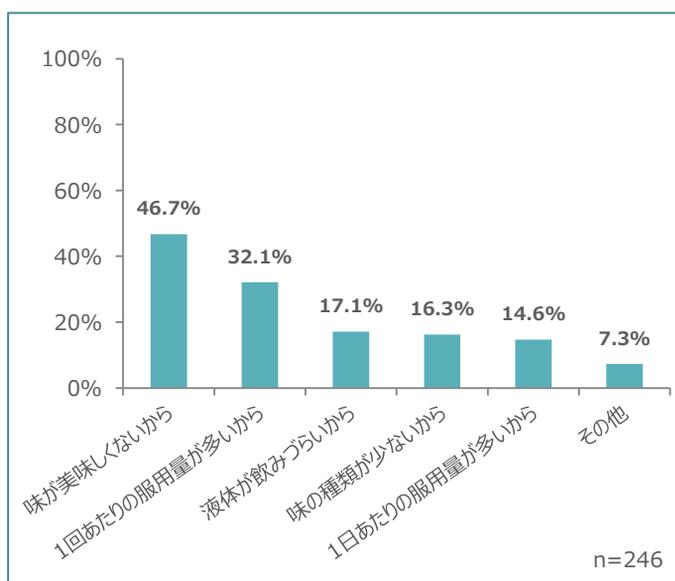


【Q10】指定された量や回数が飲めない理由について、当てはまるものをお教えてください。【複数回答】

指定された量や回数が飲めない理由について、「味が美味しくない」が最も多く、次いで「1回あたりの服用量が多い」「飲みづらい」の順となった。

n=246

	n	%
味が美味しくないから	115	46.7%
1回あたりの服用量が多いから	79	32.1%
液体が飲みづらいから	42	17.1%
味の種類が少ないから	40	16.3%
1日あたりの服用量が多いから	36	14.6%
その他	18	7.3%
小計	330	134.1%
総数	246	

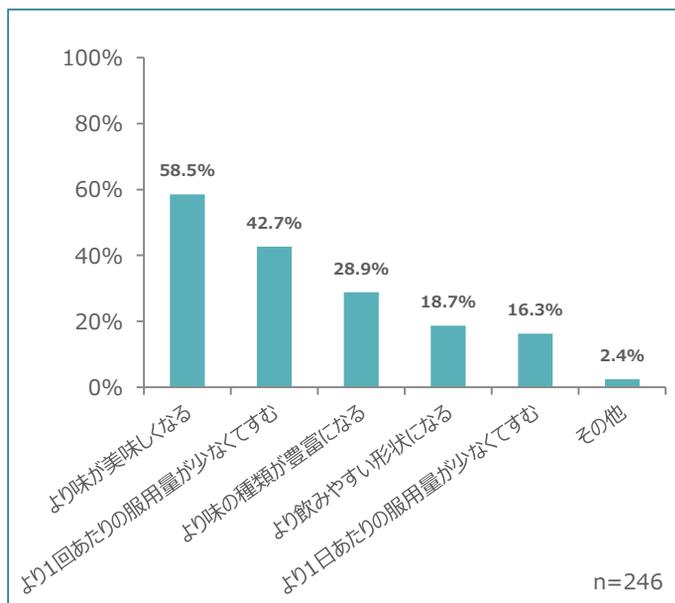


【Q11】経腸栄養剤の味や飲みやすさがどう変われば、飲む回数が増えますか？【複数回答】

半数以上が「より味が美味しくなれば」飲む回数が増える、と回答した。

n=246

	n	%
より味が美味しくなる	144	58.5%
より1回あたりの服用量が少なくてすむ	105	42.7%
より味の種類が豊富になる	71	28.9%
より飲みやすい形状になる	46	18.7%
より1日あたりの服用量が少なくてすむ	40	16.3%
その他	6	2.4%
小計	412	167.5%
総数	246	



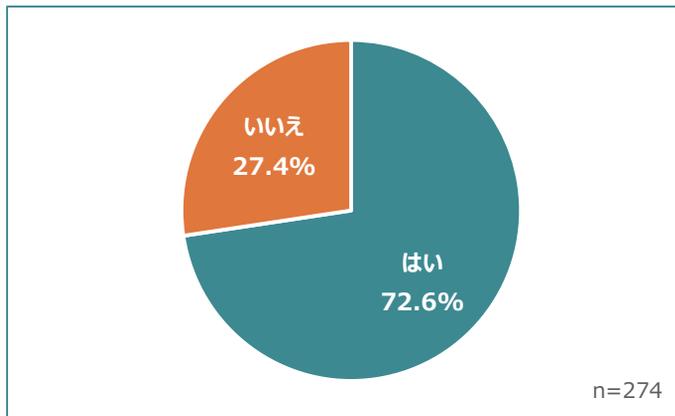
【Q12】再診時、経腸栄養剤をきちんと飲めているかについて、医師や薬剤師から確認されましたか？

※「同席していない為わからない」を排除して集計

72.6%が服薬アドヒアランスについて確認されている。

n=274

	n	%
はい	199	72.6%
いいえ	75	27.4%
総数	274	100.0%

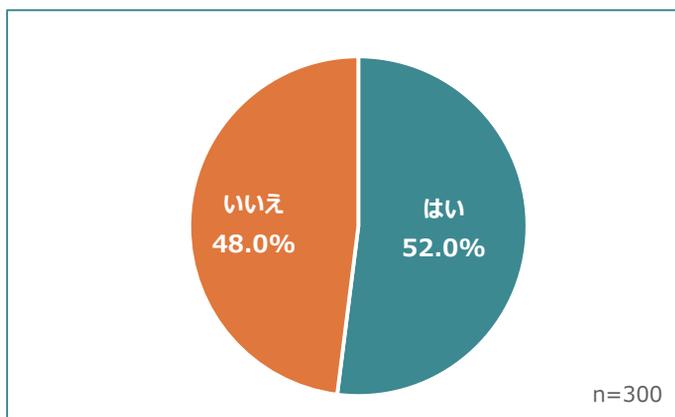


【Q13】経腸栄養剤について、医師や薬剤師に相談や要望を伝えたことはありますか？

約半数が相談や要望を伝えている。

n=300

	n	%
はい	156	52.0%
いいえ	144	48.0%
総数	300	100.0%

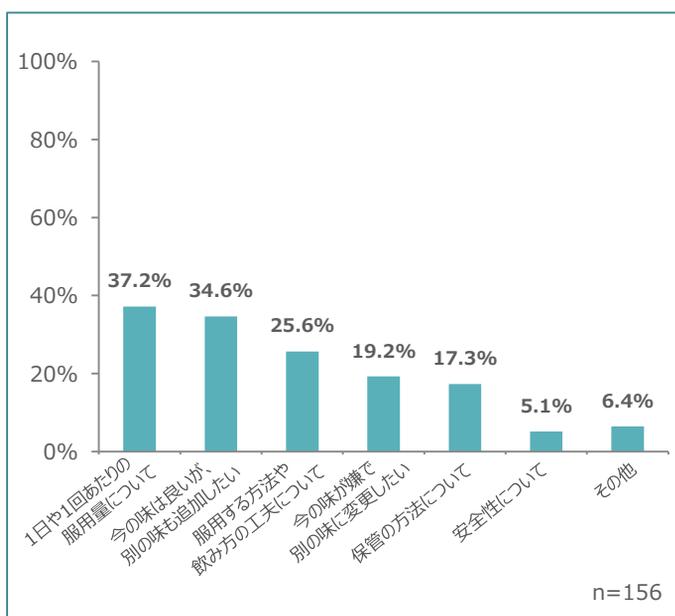


【Q14】相談した内容のうち、当てはまるものを教えてください。【複数回答】

服用量についての相談が最も多く37.2%。次いで、「別の味も追加したい」「服用方法や飲み方の工夫」となった。

n=156

	n	%
1日や1回あたりの服用量について	58	37.2%
今の味は良いが、別の味も追加したい	54	34.6%
服用する方法や飲み方の工夫について	40	25.6%
今の味が嫌で別の味に変更したい	30	19.2%
保管の方法について	27	17.3%
安全性について	8	5.1%
その他	10	6.4%
小計	227	145.5%
総数	156	

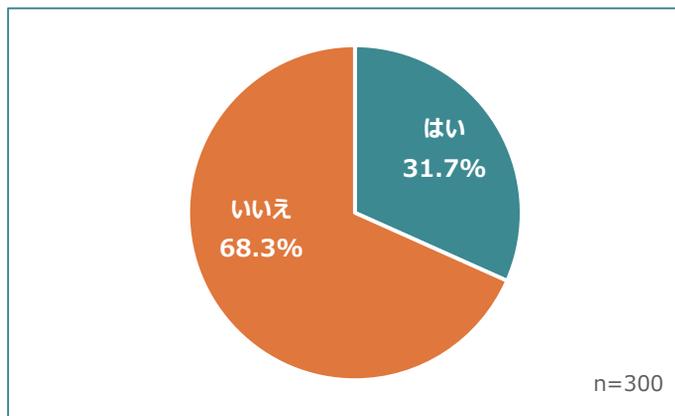


【Q15】経腸栄養剤を飲みやすくするために、工夫していることはありますか？

31.7%が飲みやすくするためになんらかの工夫をしている。

n=300

	n	%
はい	95	31.7%
いいえ	205	68.3%
総数	300	100.0%

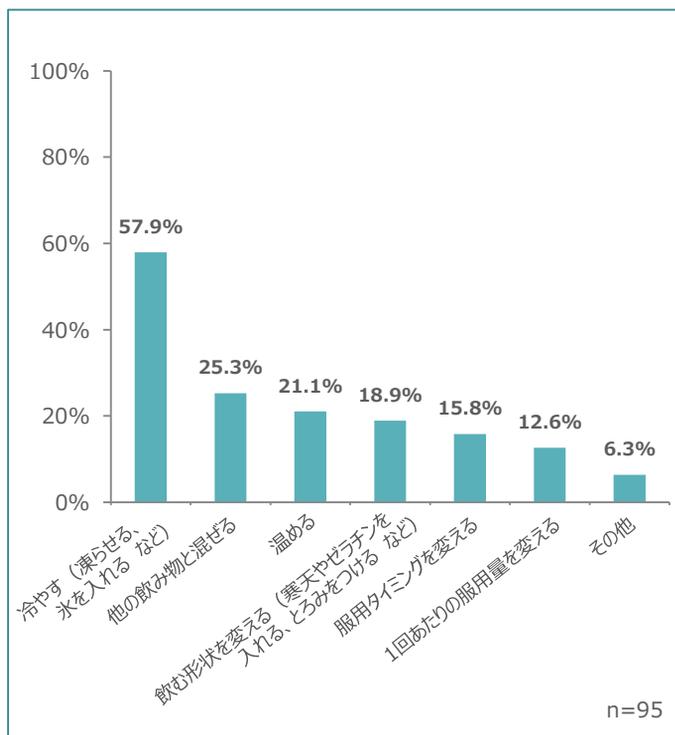


【Q16】その詳細をお教えてください。【複数回答】

「冷やす」が最も多く57.9%。次いで「他の飲み物と混ぜる」「温める」の順になった。

n=95

	n	%
冷やす（凍らせる、氷を入れる など）	55	57.9%
他の飲み物と混ぜる	24	25.3%
温める	20	21.1%
飲む形状を変える（寒天やゼラチンを入れる、 とろみをつける など）	18	18.9%
服用タイミングを変える	15	15.8%
1回あたりの服用量を変える	12	12.6%
その他	6	6.3%
小計	150	157.9%
総数	95	

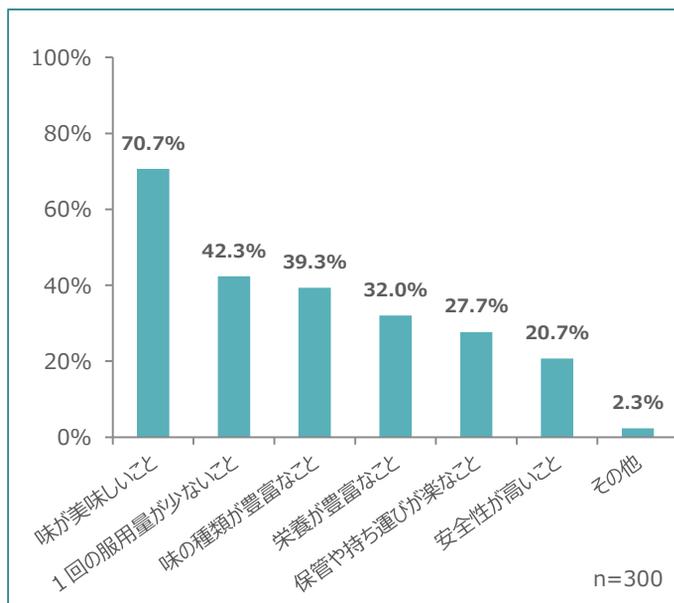


【Q17】経腸栄養剤を継続して飲み続けるために重要と思うことを教えてください。【複数回答】

継続して飲むためには「味が美味しいこと」が重要という回答が最も多く、70.7%が回答した。

n=300

	n	%
味が美味しいこと	212	70.7%
1回の服用量が少ないこと	127	42.3%
味の種類が豊富なこと	118	39.3%
栄養が豊富なこと	96	32.0%
保管や持ち運びが楽なこと	83	27.7%
安全性が高いこと	62	20.7%
その他	7	2.3%
小計	705	235.0%
総数	300	



【Q18】経腸栄養剤の味や飲みやすさに対して、「こんな味があれば良い」「こうすればもっと飲みやすくなるのに」など気になる部分があれば教えてください。

代表的なコメントを以下に記載する

■ 味について

- ・チョコレート味とかココア味とかが出てほしい。
- ・甘みをおさえて欲しい。甘すぎて気持ち悪くなる。
- ・塩味があると良い。
- ・フルーツ味やヨーグルト味。
- ・牛乳っぽさが苦手なので、ジュースのような果実・果汁が入ったものや、コンスープや、ポタージュのような、ちゃんと食事をした感のあるものが欲しい。
- ・梅味。
- ・コーヒー味、インスタントコーヒーを濃めにして(少ない量)に混ぜて飲むと飲みやすい味になる。
- ・ミルクっぽいので牛乳好きな人には良いが、苦手な人には飲みにくいと思うので、もっとさっぱりとしたクリアな感じの物があれば良いと思う。
- ・肉じゃが味、ビーフシチュー味、とんこつラーメン味のような、より食事に近い味のバリエーションを増やして欲しい。
- ・緑茶くらいにサッパリしていること。胃にもたれるようじゃ、他の食事に影響が出る。
- ・ヨーグルトなど酸味があるもの。

■ 容器について

- ・缶の入れ物以外の紙パックなどがあれば良かった。ストロー付きの物が欲しい。
- ・ブルトップが開け難い。スプーンなどを使っているが、本人には難しい。
- ・持ち運びやすい、開けやすいペットボトルサイズにして欲しい。

■ 形状について

- ・プリンのようにめらかな食感のもの。
- ・微炭酸なんかはもしかしたらいいかも。
- ・とろみがあると良い。
- ・シャーベットやアイスのように口当たりがよくある程度の固形で摂取しやすいといい。経腸ドレーン(胃婁、腸婁)使用で無いなら誤嚥や逆流しない形態で、食べやすいと安心。
- ・独特のくせ(臭いと甘味?)があるので抹茶やコーヒーを混ぜてゼリーにしたら飲みやすくなる。
- ・食べる、噛む事をしたくなるので、ゼリーやプリンみたいな形のものだと満足感も増えそう。それも、一口タイプのものがあったりすると、持ち運びにも便利なので、外出するけど外では食べられない時でもつまみやすいので助かる。
- ・喉ごしがすっきりすると飲みやすくなるかも。
- ・とろみ剤を使っているので、はじめからとろみがついていればよい。

■ 量について

- ・一袋の容量を少なくしてほしい。
- ・一度に飲む量が少ない方が飽きずに飲めて続けられる。
- ・少量で栄養価の高いものがほしい。

■ 本調査に関するお問い合わせ先

株式会社QLife 広報担当 田中智貴
TEL : 03-3500-3235
E-mail : info@qlife.co.jp

■ 株式会社QLifeの会社概要

会社名 : 株式会社QLife (キューライフ)
所在地 : 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-13-1 ポッシュビル赤坂7F
代表者 : 代表取締役 山内善行
設立日 : 2006年(平成18年)11月17日
事業内容 : 健康・医療分野の広告メディア事業ならびにマーケティング事業
企業理念 : 医療と生活者の距離を縮める
URL : <http://www.qlife.co.jp>